

# 自由国民新聞

JIYU-KOKUMIN SHINBUN

2022 (令和4) 年  
7月20日  
第12号

発行所：自由国民連合  
〒103-0014  
東京都中央区日本橋蛸殻町  
2-15-9-901  
TEL：03-6661-2525  
FAX：03-6661-7829

定価 1部500円

# 岸田首相、安倍元首相の遺志継承を

## 台湾有事に備えた憲法改正を早期実現せよ



安倍晋三元首相の遺影

7月10日実施された第26回参院選は、自民、公明の与党が選挙区選比例選ともに議席を伸ばして75議席を確保、改選過半数(63議席)を大きく超えて大勝した。憲法改正に前向きな自民、公明、日本維新の会国民民主党の「改憲4党」で、改憲発議に必要な三分の二の議席(166議席)を上回った。これに対し、野党第一党の立憲民主党は、政府の物価対策や経済政策を批判し、与党の過半数阻止を狙ったが、野党一本化をまとめることができず、6議席を失い、与党過半数阻止はできなかった。国民民主党、共産党も2議席減らした一方、関西に基盤をもつ日本維新の会は12議席に6議席から倍増した。この結果、参議院の現勢力は、定員248議席に対して与党が146議席、野党が102議席。投票率は、52・05%で、前回2019年参院選の48・80%を上回ったものの、低水準にとどまった。

## 要人に対する警護、警備体制の強化を

今回の参院選での自公与党の勝利は、事前に予想されていた。結果は「予想以上」(自民党本部幹部)だったが、いくつかの要因が挙げられる。一つは、拡大するコロナ禍による国民の将来に対する不安に対して、現実的な対応を政府と野党に求める期待と野党の弱体化があった。野党第一党の立憲民主党には、野党をまとめる力がなく、コロナ対策に対する現実的な対案を示すことができなかった。

「中国の習近平国家主席による台湾への内部工作あるいは武力行使が現実味を帯びてきた」(米国軍部高官)。「台湾の有事は日本の有事(安倍晋三元首相)と言われる。危機が迫った場合、国民は国の安定と生活の安全を志向する。国民は「聞く耳を持つ」「岸田首相に期待する」という声が増えている。調査で約7割に上った。ロシアのウクライナ侵攻が憲法改正、防衛費増大を主張する岸田政権にとつ

とに対する失望感が国民の中に広がっていた。選挙戦でも、32の一人選挙区で11区でしか野党一本化がまとまらず、結果的には、与党対野党で28勝4敗だった。自民党も票が伸びたわけでは無い。自民党に対する不満は、立民に票がいらず、政府の政策に是非々々で対応する維新に流れ、立民は6議席を失い、維新は6議席増やした。比例区では、維新への票が、立民を上回って、維新が野党第一党になった。批判のための批判をするリベラル政党の立民、共産は議席を減らし、社民はかろうじて1議席を確保するのがやっと

て追い風になったとの見方だ。一方、今回の参院選で特筆すべきは、7月8日に自民党内最大派閥の領袖として国内外に大きな政治的影響力をもった安倍晋三元首相が遊説中被災し死亡したことだ。安倍元首相に対して心から哀悼の意を捧げたい。安倍氏の襲撃事件では、犯行の動機、実態、背景は警察当局の捜査で後日明らかになるが、安倍氏への警護、警備体制の不備、杜撰さを指摘したい。元警護責任者らによると、これまでの映像、目撃者の証言などから、「当日の警護、警備体制、行動に、あまりに

## 尊皇愛国・反共救国・保守団結・国際連帯——自由国民連合

豪印のクワッド連携など数々の実績を挙げている。首相退任後は、菅義偉首相、岸田文雄首相に政権が移ったが、自民党最大派閥「清和政策研究会」(清和会、安倍派)の領袖として大きな影響力を持つと同時に、外国の要人からの信頼が厚かった。安倍氏に近い筋によると、参院選後は、悲願の憲法改正、防衛力の強化、北朝鮮による拉致問題、北方領土返還、皇室の安定、世界中の日本の外交的役割の向上などの課題の解決を図る専門家集団の独自のシンクタンクを設立し、「美しい国」づくりに邁進する意向だったという。

コロナ禍と経済不振、ロシアのウクライナ侵攻に伴う物価高、円安に加え、中国の軍備増強、北朝鮮の核の威嚇など内外共に危機的状況下に置かれた日本にとって、安倍氏という政治家を失ったことは、日本にとって大きな損失であることは間違いない。自民党内には、「安倍氏の遺志を継ぐべき」との声は大きい。岸田首相は今後、内閣改造、自民党役員改正、秋の臨時国会、年末にかけて国家安全保障戦略など3文書改定、来年度予算作成など日程が詰まっている。岸田首相が岸田スタイルを活用して「安倍氏の遺志」をどのように継承し、我が国

が抱える課題をどう解決していくか、岸田首相の政権運営の力量が問われる。今回の参院選の結果を踏まえ、「尊皇愛国」「反共救国」「保守団結」「国際連帯」を運動方針に掲げる自由国民連合としては、「国体の本義」に基づいた「和」と「まこと」の日本精神を復興させるとともに、自立した日本を取り戻すために、憲法改正に向けた国民運動を全国的に展開していく方針である。

### 自由国民連合起願文の宣布

自由国民連合は7月1日、2022年後半の精神復興と運動の実現化にむけて、次のような16の漢字四文字による「起願文」を宣布した。

「神州日本建設」

自由国民連合起願文

- 神愛立国
- 尊皇愛国
- 保守団結
- 反共救国
- 世界連携
- 絶滅左端
- 自立日本
- 世界支援
- 国防強化
- G七協調
- 領導各国
- 経済繁栄
- 世界共存
- 立正安国
- 八紘一字
- 理想実現

令和四年七月一日

自由国民連合



# 「大和魂を復活させよ」

## 自由国民連合7月定例会

### 戸塚ヨットスクール校長 戸塚宏氏

一般社団法人自由国民連合(自国連)は7月15日、都内の日本橋公会堂で、戸塚ヨットスクール校長の戸塚宏氏による「教育荒廃の本質」と題する7月定例会(主催、自国連)を開催した。約50人が参加。戸塚氏は「リベラルの思想が日本の教育をダメにした」と指摘、「日本人が縄文時代から持ち続けてきた『和』の心、大和魂を復活させることが日本を蘇らせる」と語り、「和」をつくる能力を高める教育の重要性を強調した。

定例会は冒頭、参加者全員が7月8日逝去された安倍晋三元首相に対して黙祷をささげた。

戸塚氏は講演の中で、登校拒否の子供たちなどを戸塚ヨットスクールの教育方針で立ちなおしている経験と実績を踏まえ、独自の教育論を展開した。「現在の教育は、学校の先生や親が、自由や権利の定義を知らないで、子供の自由や権利ばかりを主張して、子供を甘やかして、あまり叱ることをしない」「褒めることも大切だが、褒



講演する戸塚宏氏

抗してはならないと教える。善悪の定義ができないリベラルは、自分にとって都合のいいのが善で、都合が悪いのが悪と決める。自分の考えと違う相手を非難するが、自分の間違いを認めようとしない。批判のための批判をするのがリベラル。代案はな

### 心のふるさとを訪ねて私の神社巡り

#### 日本人の「心のふるさと」伊勢神宮

#### 天皇に代わり天照大神に仕えた齋王

まずは、この紙面をお借りして、7月8日に逝去された安倍晋三元首相のご冥福をお祈りし、心からの感謝をお捧げ致します。日本のみならず世界の人人から愛された安倍元首相のあまりにも衝撃的な最期により、おそらくは世界の人人々に「日本」安倍晋三」という名前が深く刻まれたのではないかと思います。

「左翼は、上に立つ者権力を支配者と考え、これに反抗するのが正しいと教えるが、左翼の考えに反

7千年前からの縄文時代は平和を維持してきた。『和』の精神があるからだ。日本人には『和』をつくる能力がある。『和』の精神こそ大和魂。聖徳太子は『和をもつて貴しとなす』と言ったが、現在では『和をもつて貴しとなせ』で、『和』で行動すれば、能力の成果が上がる。『和』をつくる能力を教えれば、日本は進歩する。最後に、次の言葉で締めくくった。「人間の本能は善である。本

#### 西ゆかり(関東ブロック)

象的なことは、三回の参拝の日がいずれも本日に美しい青空だったことです。

今回は20年11月23日の伊勢神宮参拝の際、特に思い出深い齋王宮跡地を訪ねた時のことを紹介致します。神社参拝をする時は、参拝する神社の歴史などを調べます。二度目の伊勢神宮参拝を前に様々調べていたら、昔「齋王」と言う制度があり、宇治山田駅から車で20分弱の所にある齋王宮跡地には広大な齋王宮跡地と齋王歴史博物館があることが分かりました。

神宮の外宮と内宮を参拝した後、齋王宮に着いたのですが、駅の前に東西2キロ、南北700メートルの広大な齋王宮跡地が広がっています。とても驚きました。齋王宮さ

能とは生きること、種族保存、生命力である。どう生きるかを教える。本能を開発すれば、正しい人間になる。人の心には知、情意があるが、意思を強くすることが重要である。正しいことを貫くには、勇気が必要であり、本当の大和魂を持つことである。これを左翼やマスコミのリベラル派が最も反対するだろう。だから、大和魂を復活させよ」

#### 歴史博物館の資料によると、齋王制度の概要は平安時代に編纂された法令集「延喜式」により知ることが出来る。これによると、齋王は、天皇が即位すると未婚の内親王(皇女または女王)の中から、卜定(ぼくじょう)と呼ばれる占いの儀式で選ばれた。

齋王は、基盤の目状に道路が走り、木々が植えられ、伊勢神宮の社殿と同じく清楚な建物が100棟以上も建ち並び整然とした都市で、そこには齋王寮を運営する官人や齋王に仕える女官、雑用係などあわせて500人以上の人々が起居していた。齋王では、齋王自身が清らかであることはもちろん、寮の官人および寮内各所が常に清浄であることが求められ、都に準じた様々な祭りや年中行事が行われたそうである。

齋王がその任を解かれるのは、天皇の譲位・崩御、齋王の病、肉親の不幸などの場合に限りおろり、そのため、天皇一代に齋王一人が原則でした。制度上最初の齋王は、第40代天武天皇(在位670年〜686年)の娘・大来皇女(おおくのこうじよ)で、この制度は、制度が廃絶する第96代後醍醐天皇の時代(在位1318年〜1339年)まで約660年間続

き、その間60人余りの齋王の名が記録されています。私が訪ねた日は、博物館では跡地発掘から50周年の特別展が開催されており、その最終日でした。2016年に当時の天皇皇后両陛下もご覧になった様々な展示品やジオラマを見た後、広大な跡地の一角にある「齋王宮址」を目指して歩きながら、660年の長きにわたって齋王を務めた歴代の女性達と、その齋王を支えた名前も知れない多くの人々について思いを馳せました。

史跡「齋王宮址」の鳥居をくぐり、その昔おそらくは宮殿があった場所、結婚することなく神様に仕え、祈り続けた多くの女性達の御霊の安からん事を祈りました。切ない思いを残しつつ史跡を後にして夕暮れの駅までの道を歩き始めた時、突然私の両目に激痛が走り出しました。そして両目から滂沱の涙が流れ始めたのです。激しい痛みと涙がとどめなく流れ、止めることも出来ず駅までの一本道を泣きながら歩きました。

この時、目の痛みを耐えて流れる涙を拭きながら、おそらくはこの地で結婚をする事なく、身を清く保ちながら神に仕えた多くの女性たちの流した悲しみの涙なのだろうと思いつながら更に切ない思いになりました。

伊勢神宮について調べなければ知る事の無かった齋王と齋王宮という日本の国の形が整い始めた頃の歴史が伊勢の地にありました。日本の国を、ご皇室を、そして伊勢の地を深く愛された安倍元首相が亡くなられた今、「美しい国」日本を創る為に私自身が努力することを誓い、今年も新嘗祭の日に伊勢神宮を参拝し、そしてまた「齋王宮址」を訪ねようと思えます。



齋王宮址